

主な内容

3月定例会のあらまし	1
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2
主な質疑	3
議会の動き	3
平成24年度 当初予算審査	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行

那須烏山市議会

編集

議会広報委員会

事務局

☎0287-88-7114



七合中学校との統合後初の烏山中学校入学式(4月9日(月))

3月定例会を3月6日(火)に招集し、3月21日(水)までの16日間の会期で行いました。提出された議案はすべて原案のとおり可決しました。可決した主な議案は次のとおりです。

※なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報那須烏山第79号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目

- ・平成24年度予算(一般会計・7特別会計及び水道事業会計)
- ・平成23年度補正予算(一般会計・6特別会計及び水道事業会計)
- ・東日本大震災復興推進基金設置及び管理条例の制定
- ・市民駐車場設置、管理及び使用料条例の一部改正
- ・水防協議会設置及び運営条例の一部改正
- ・市税条例の一部改正
- ・国民健康保険診療所設置、管理及び使用料条例の一部改正
- ・障害者自立支援法施行条例の一部改正
- ・介護保険条例の一部改正
- ・市立保育所の設置及び管理並びに保育の実施に関する条例の一部改正
- ・土地改良事業分担金徴収条例の一部改正
- ・道路占用料徴収条例の一部改正
- ・市営住宅設置及び管理条例の一部改正
- ・市立図書館協議会設置及び運営条例の一部改正
- ・公民館運営審議会設置及び運営条例の一部改正
- ・学校施設整備基金設置及び管理条例の制定
- ・運動施設設置、管理及び使用料条例の一部改正
- ・監査委員(議会選出)の選任同意



久保居 光一郎 議員

- ① 災害時における自治防災体制の構築について
- ② 女性消防隊の今後の活動内容と組織体制の在り方について
- ③ 向田ふれあいの里の活動状況と今後の地域高齢者支援施設に対する構想について
- ④ 道の駅について



平塚 英教 議員

- ① JR烏山線の利用向上対策について
- ② 広域行政の一般廃棄物処理の将来計画について
- ③ 超高齢化社会に備える対策の充実・強化を
- ④ 市民の命と健康を守る対策の充実を
- ⑤ 市文化財行政について
- ⑥ 社会保障と税の一体改革について



渋井 由放 議員

- ① 消防本部移転に伴う緊急車両の運行について
- ② 民営と公営の幼稚園、保育所の考案方について
- ③ データの管理と漏洩防止について
- ④ 時限立法等について
- ⑤ 中央公園の整備について
- ⑥ 社会福祉協議会烏山支所の移転と障がい者日中一時支援事業のあり方について



中山 五男 議員

- ① 行政委員等報酬の見直しについて
- ② 管理職の外部登用について
- ③ 生活保護受給者対策について
- ④ 県立烏山高等学校について
- ⑤ 新学習指導要領の取り組みについて



佐藤 昇市 議員

- ① 震災、台風の災害復旧について
- ② 税の徴収率向上対策について
- ③ スポーツ振興について



樋山 隆四郎 議員

- ① 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)について



川俣 純子 議員

- ① 危機管理マニュアルについて
- ② タクシー券について
- ③ 給食センターについて
- ④ 市の自殺者対策について

※赤字になっていている項目は、本紙2ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

平成24年3月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。

災害時における 自治防災体制の 構築について

久保居光一郎 議員

(問) この度の震災では停電・通信網の遮断という想定外の事態が起き、従来の防災マニュアルが機能しなかった。それに伴い市民への避難を含めた情報伝達が遅れたこと、また自治会との連携がスムーズに図られなかったことが教訓として挙げられる。今後、このような震災を想定するとき初動対策として、各自治会による自主防災組織の確立を図ることが急務と思うが市長の考えを伺う。

◎市長 行政消防機関での公助には限界がある。災害時は自分の身は自分で守る自助とともに地域での共助が重要である。自主防災組織は自発的に組織されるものであるが、重要性を認識しているので組織の充実を図るための支援を進めたい。

県立烏山高等学校 校について

中山五男 議員

(問) 烏山高校は本市唯一の高校でありながら、募集定員割れが続いている。烏高の衰退は那須烏山市の衰退につながるものと考えられる。そこで、烏山高校が県中央の進学校に対しても遜色なく、県東部の雄と目されるよう、存在価値を内外に示せるような方策をとるのも地元市長、教育長の務めでないか。

市長の望む烏山高校の理想像について伺いたい。

◎市長 烏山高校は本市活性化の源泉と考えている。そこで、意欲ある教師の配置を県教育委員会に強く要望するなどして、文武両道の高校を目指してもらいたい。更に、魅力ある学校にするため、施設整備等には市も側面からの支援が欠かせないものと感じている。



本市唯一の高校「烏山高等学校」



蓄電池駆動車両の「スマート電池くん」

JR烏山線の 利用向上対策に ついて

平塚英教 議員

(問) JR東日本は蓄電池車両の実用化に向けた最終試験運行を烏山―小金井間で実施との事だが、この蓄電池車両の烏山線への導入見通しを伺いたい。JR烏山線の乗降客の推移状況をふまえて、駅舎周辺整備や駐車場の設置を含め全市をあげた利用向上対策を図りたい。

◎市長 蓄電池駆動車両システムは、国内非電化区間に初めて導入されるハイブリット電車で、通勤通学等に大幅な利便性が図れ観光客誘致につながる。烏山線への導入は未定だが、蓄電池駆動車両導入が利用向上の大きな起爆剤になる。鴻野山駅駐車場整備や、烏山駅や大金駅前活性化対策を進めながら、全市を挙げた蓄電池車両システム導入の誘致活動に取り組んで行く。

税の徴収率向上 対策について

佐藤昇市 議員

(問) 滞納額は現在数億円になってきている。一日も早い解決が望まれている実態をどう処理するのか、今後の取り組みと、専任徴収員の配置についても伺う。

◎市長 平成24年1月末現在の収入未済金額は、総額で15億6700万円である。その内、大口滞納は11社で11億900万円、固定資産税滞納額が89%を占めている。今後も自主納付の推進、徴収率の引き上げを図るために、収納体制の強化として戸別訪問による納税相談を密にする必要があると認識している。

税務事務の経験者による専任職員を配置し、税の知識を生かした徴収と、納税相談指導ができる体制を進め、事務強化を図るため専任の収納部門を設ける。



徴収率向上のためのタイヤロック

民営と公営の幼稚園、 保育所の 考え方について

渋谷由放 議員

(問) 政府は総合子ども園の創設を柱とする子ども・子育て新システムをとりまとめた。那須烏山市には民営と公営の幼稚園、保育所とが併設をされている。この様な中で今後どのような対応をとるのか市長の考えを伺う。

◎市長 平成24年度には子育て機関、大学、関係者等で構成する検討委員会を設置する。

(問) 総合子ども園は3歳未満児の預け入れは義務づけない。当市では乳幼児の預け入れこそ利用者のニーズがあると思われるが、どの様に考えているか。

◎こども課長 乳幼児はもちろんのこと3歳未満児の預け入れ等、形態が利用者のニーズにあったような形で提供できるように検討して行く。

◎市長 T P P協定の締結がなされれば農産物の関税がすべて撤廃され、海外からの安い農産物が

環太平洋戦略的 経済連携協定(T P P)について

樋山隆四郎 議員

(問) 環太平洋戦略的経済連携協定(T P P)の農業問題について伺う。

◎市長 T P P協定の締結がなされれば農産物の関税がすべて撤廃され、海外からの安い農産物が

輸入され流通すれば、日本農業は大きな打撃を受ける。JAを初めとする農業団体などは今、盛んに反対運動を展開している。もし締結がなされれば国策として、まず強い農業が求められる。そのためには農業の体質強化である。若手層の新規就農促進策を始め、農業経営基盤強化の要となる農家への直接支払い制度の拡充強化などである。市長として市長会を通じて農業経営基盤強化を強く求めて行きたい。



建設が始った給食センター

給食センターに ついて

川俣純子 議員

(問) 新しい給食センターは3千食の調理能力があるが、児童生徒数は減少していく。その対応はいかがか。またアレルギー調理室ができるが、どのような対応ができるか伺う。

◎市長 児童生徒数の減少のため、余った調理能

力を市の幼稚園、保育所の給食を検討している。また公的機関への配食等も差し支えないので、真岡市などの先進市町を参考に検討する。

アレルギー児童生徒は現在28人である。新しい給食センターには、アレルギー調理室ができる。栄養士と学校との連絡調整をして調理を検討し、アレルギー物質については、詳しい一カ月分の献立表を保護者に届ける様に対応する。

議会行財政改革 特別委員会

議会行財政改革特別委員会(久保居委員長)では、合併新市後の予算・決算審査の議会の要望・意見等75項目について追跡調査・評価(4段階)を実施し、3月21日市長あて要望意見等評価報告書として提出しました。なお、特に早急に対応すべき11項目については、新年度予算に反映させるため、別途事前に要望しております。



市長に報告書を渡す議会行財政改革特別委員会

主な質疑

3月定例会に上程された議案の審議の中で、議員の質疑の中から主なものを要約して掲載しています。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

損害賠償の額の決定及び和解について(報告)

議員 市公用車の台数と損害賠償の年間保険料はいくらか。事故を起こした職員への科料は。

総務課長 公用車は消防自動車を含め、150台保有し、年間の保険料は336万円である。担当課長及び当事者を呼び嚴重注意した。

那須烏山市東日本大震災復興推進基金設置及び管理条例の制定について

議員 本市への被災自治体交付金は8937万円とのことだが、今後の利用方法を伺いたい。
総合政策課長 平成24年度は太陽光発電補助事業に600万円、被災復旧支援金事業に3千万円を充当し、残り平成25年度以降、ふさわしい事業に充当するよう検討したい。

那須烏山市職員定数条例の一部改正について

議員 平成24年度から市職員定数を290人から268人に減員する一方で、臨時や嘱託職員130人程度で埋めるとのことだが、安定した住民サービスが維持できるか。

総務課長 今後とも職員の資質の向上に努め、サービス向上を図って行きたい。

那須烏山市民駐車場設置、管理及び使用料条例の一部改正について

議員 中央公園内駐車場とJR烏山駅前、市の有料駐車場の利用者区分を明確にするの事だが、山あげ会館前の駐車場に常時駐車している車両についても有料化を図るべきでは。

総務課長 条例以外の市有駐車場は、市管財係で常駐している車の台数を調査し、ナンバーを陸運事務所に照会し、確認した上で撤去

通知を出すこととしている。有料化については施設管理担当課と十分検討して行きたい。

平成23年度補正予算関係

議員 東日本大震災農業生産対策事業2億6335万1千円の中身は。

農政課長 これは大震災で被災したJA藤田ライスセンターの修理と、中山の梨、トマト選果場が被災し、新しくJA集出荷施設を集約化する事業を9月で補正したものを24年度に繰越明許するものである。

議員 食品用の簡易放射能測定器を3台購入することだがどこに設置するのか。またその運用は有料か。
総務課長 1台は学校給食用に烏小(烏中も測定)に設置、1台はここに保育園に設置、もう1台は烏山庁舎に配置し予約を受けつけ一般市民に利用いただく。3台とも無料で活用する。



平成24年度当初予算に関する総括質疑

議員 新聞報道にあった市営バス運休の原因は、委託業者の車輛安全対策不備に対する社員の抗議行動であったとも聞くが、どのような指導及び対応をするのか。

副市長 バスの運行は安全第一が当然である。委託業者には安全運転・人事労務管理等について厳しく指導する。

議員 地域情報化推進費8100万円の内容について伺う。
総合政策課長 現在使用している業務系システム運用に関する経費である。

議員 現在、指定管理者を導入している施設についてチェックや指導が行われていると聞きますが、その内容が見えない。今後の指定管理者制度に問題はないのか。
総務課長 実績報告等も慎重に精査し、平成24年度の更新時は継続ありきでは無く、慎重に審査して適切な選考に努めたい。

議員 農林水産費、新規就農総合支援事業費

150万円の内容について伺う。

農政課長 これは国からの新規事業で、新規就農者に対して最長5年間、150万円の就業奨励金を交付する事業である。

議員 七合中学校通学用自転車購入交付金は、これまで何件申請があったのか。
学校教育課長 受付申請数は、現在のところ4件である。

議員 八溝そば街道そば祭り実行委員会交付金とあるが、去年は補助金で予算措置をした。50万円ほど減額になっているが何故か。
農政課長 減額の理由は、給排水関係の備品を去年措置したためその分を減額した。

議員 平成23年度の地方債残高の現在見込み額は144億3531万円、平成24年度末の見込み額は154億5205万円とある。今後の財政シミュレーションについて伺う。
総合政策課長 平成24年度の後期基本計画と併せて実施計画を策定する際に、具体的財政シミュレーションを示したい。

3月議会の本会議日程と傍聴者数

月	日	内容	傍聴者数
3月	6日(火)	開会・上程・採決・付託	9人
3月	7日(水)	一般質問	19人
3月	8日(木)	一般質問	19人
3月	9日(金)	新年度予算総括質疑	4人
3月	21日(水)	報告・上程・採決・閉会	6人
計			57人

議会を傍聴してみませんか



議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。(TEL0287-88-7114)

議会の動き

平成24年1月

28日○議会だより第24号発行

30日○議会運営委員会
○議員全員協議会
○第1回臨時会

2月
21日○行財政改革特別委員会

27日○議会運営委員会
○議員全員協議会

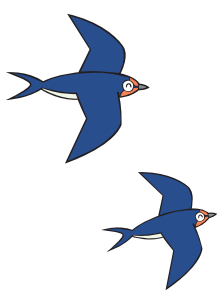
3月
6日○第2回定例会(21日まで)

9日○議会運営委員会
12日○議員全員協議会
13日○各常任委員会(14日まで)

21日○那須烏山市予算・決算要望意見等評価報告書提出(市長あて)

○議会運営委員会
○議員全員協議会
○議会広報委員会

4月
13日○議会広報委員会
18日○議会広報委員会



平成24年度 当初予算審査

平成24年度一般会計7特別会計、水道事業会計の当初予算については、各常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。ここでは、各常任委員会での審査中に提出された意見を要約し、議会において報告したものを掲載します。

総務企画常任委員会

- 所管する課等
総合政策課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会
- 審査事項
所管する課等の一般会計の歳入歳出

う努められたい。

- 入札執行基準が整備されつつあるが、その運用に公正公平な入札事務が確実に進むよう適正管理に努められたい。
- 契約事項の取扱に關し疑義が生じぬよう明確な基準を定めるなど適正管理に努められ、特に違反等に抵触する場合は厳格に対処されたい。

文教福祉常任委員会

- 所管する課等
市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課
- 審査事項
所管する課等の一般会計及び特別会計の歳入歳出

経済建設常任委員会

- 所管する課等
農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会
- 審査事項
所管する課等の一般会計、特別会計及び企業会計の歳入歳出決算

が増加傾向にある。診療収入を上げるなど、いっそうの経営改善を図られたい。

- 多機能型福祉施設は地域にこだわらず、将来を見据えて、集中型多機能福祉施設を視野に置いて慎重に検討されたい。
- 保育料の未納分に年数に従って不納欠損も含めての対応を図られたい。
- 教育環境の整備を図るためにも、新たな学校再編に向けて早急に推進を図られたい。
- 市立図書館の指定管理の導入に伴い、市民へのサービス向上がさらに図られるよう検証及び指導にあたられたい。

推進計画の策定は、太陽光発電、小水力発電、バイオマス発電等を検討し、また、市民や事業者や市有施設に対する太陽光発電の設置支援を積極的に進められたい。

- 下水道事業実施計画見直しの決定に向け、住民の意向調査を実施し、9月までに結論をだされたい。
- 道の駅は、県内22カ所の道の駅の経営内容と運営組織の実態を調査研究し、早急を実施するかどうかを判断願いたい。
- 観光事業の補助金や指定管理、活動内容等に一部不透明な箇所が見受けられた。観光協会の組織内容や今後の運営等について委員会に報告されたい。
- 市道整備計画は、国の有利な助成制度を検討し、市の限られた財源の中で有効な投資が図られるよう、交通量や将来性を含めた整備計画を策定し、優先順位を明確にした着実な整備実施を進められたい。
- 市営住宅整備計画の策定を早急に進められたい。

議会新体制 スタート!

第2回那須烏山市議会3月定例会において、市議会の新体制が次のとおり決定しました。(◎は委員長、○は副委員長。委員の任期は2年。)

議長 中山五男
副議長 高徳正治

総務企画常任委員会

- ◎平塚英教 ○川俣純子
- 高徳正治 佐藤昇市
- 水上正治

文教福祉常任委員会

- ◎板橋邦夫 ○田島信二
- 滝田志孝 高田悦男
- 中山五男 樋山隆四郎

経済建設常任委員会

- ◎久保居光一郎 ○渋井由放
- 渡辺健寿 平山進
- 佐藤雄次郎 小森幸雄

議会運営委員会

- ◎高田悦男 ○平山進
- 渋井由放 久保居光一郎
- 板橋邦夫 平塚英教
- 樋山隆四郎

議会広報委員会

- ◎渋井由放 ○川俣純子
- 渡辺健寿 久保居光一郎
- 高徳正治 佐藤昇市
- 佐藤雄次郎 平塚英教

南那須地区広域行政事務組合議員

- ◎中山五男 ○平山進
- 小森幸雄 滝田志孝
- 中山五男 平塚英教
- 渡辺健寿

議会選出監査委員

- ◎中山五男 ○平山進
- 小森幸雄 滝田志孝
- 中山五男 平塚英教
- 渡辺健寿

総務企画常任委員会



高徳 佐藤(昇) 川俣 平塚 水上

文教福祉常任委員会



中山 高田 滝田 田島 板橋 樋山

経済建設常任委員会



平山 小森 渡辺 渋井 久保居 佐藤(雄)

あとかぎ

新しく中山五男議長、高徳正治副議長が誕生し、各常任・特別委員の委員も新しいメンバーとなりました。

議会広報委員会についても新しい委員のもとで活動していくこととなりました。

前委員会が検討していた事項を引き継ぎ発展をしていきたいと考えております。

年4回発行の「議会だより」はもちろんのことでありますが、「ホームページ」にも力を注いで行きます。

前委員会が検討していた「ホームページ」が、平成24年4月1日から議長交際費や議会活動予定表などのカテゴリ(項目)を大幅に増やしアップ(公開)いたしました。

市民の皆様にお知らせすることがあれば「ホームページ」に随時アップ(公開)して行きます。

また、市民の皆様のご意見をいただけるようになっております。ただいたご意見は関係する委員会で議論を行ない、その後全員協議会で報告を受け必要があれば市長とも協議をいたします。

議会の透明性を確保し、信頼をいただけるように「議会だより」と「ホームページ」で議会活動をお知らせしてまいりますのでどうぞご期待ください。

(渋井由放 記)

6月定例議会は、6月5日(火)開会予定です。

※正式な日程は、5月29日に開催される議会運営委員会で決定されます。

- 市有財産は、今後も積極的に整理統合を図り、特に売却による処分を予定する場合は、将来にわたる財政負担の減少を第一とし、早めに対処できるように方策を検討されたい。
- 新たに収納部門を専任化した組織の設置を検討されているが、その組織が効果的に機能が発揮され、収納体制の強化につながり、確実に徴収率が向上するよう努められたい。

- 熊田診療所において、一般会計からの繰入金

- 再生可能エネルギーの